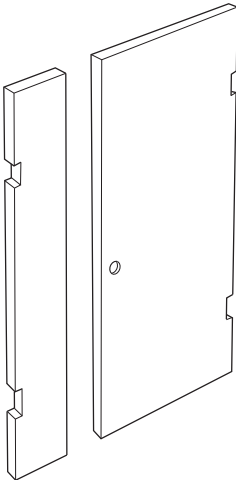

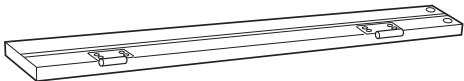




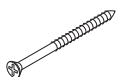

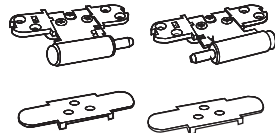



カルモ

c a l m o 内装ドアユニット 親子ドア・ハイドア

⚠ 施工にあたってのご注意

- | 扉 梱 包 | | 別 梱 包 | | | |
|---|---|-------|-----------------|---|---|
| 扉本体
(親扉:1
子扉:1) |  | | 上枠
(1) | 
上受けつぼ付 | |
| | | | 縦枠
(2) |  | |
| | | | 縦用戸当り
(2) |  | |
| レバーハンドル(1)
丁番取付けビス(16) | 
レバーハンドルの箱に同梱 | | 上用戸当り
(1) |  | |
| 受けつぼ(1)
取付け用ビス(2) | 
レバーハンドルの箱に同梱 | | 枠組立てビス
(4) | 
(3.5×50mm) | 
(2.0×32mm) |
| 扉側丁番(上・下)
(4)
※ハイドア(6)
丁番ケースカバー
(4)
※ハイドア(6) | 
レバーハンドルの箱に同梱 | | 躯体取付けビス
(10) | 
(4.2×62mm) | |

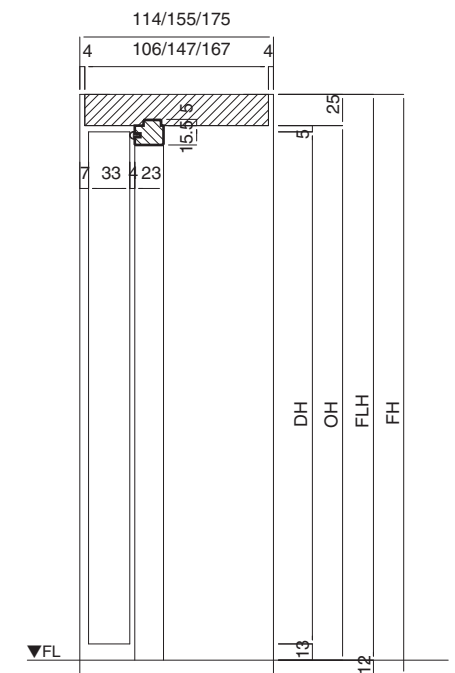
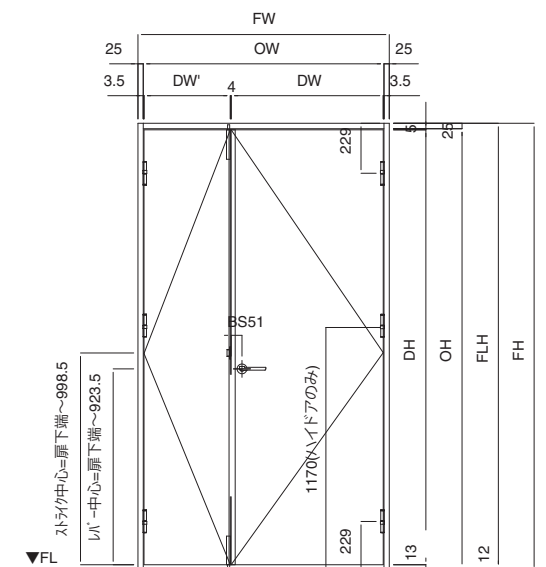
F(H)Z - ○ - □ (R · L)

	○	枠見込	FW(枠外)	H
固定枠	W	114mm	1185mm	2047mm 2340mm
	S	155mm		
	L	175mm		

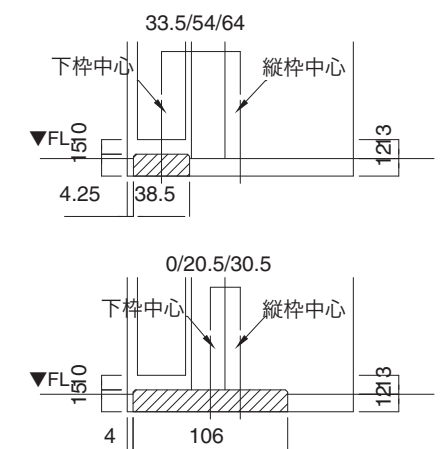
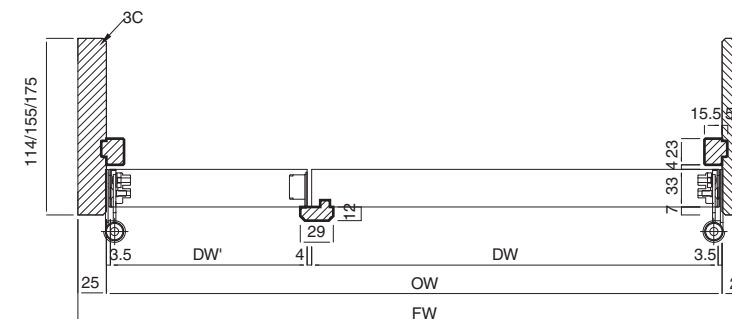
色品番

R	右吊元
L	左吊元

縦断面図

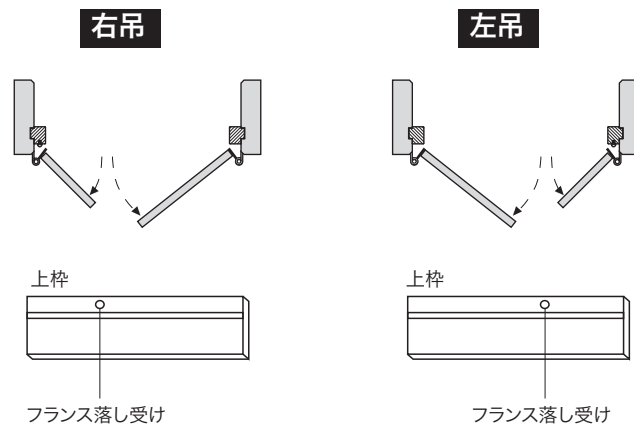


横断面図(固定枠)

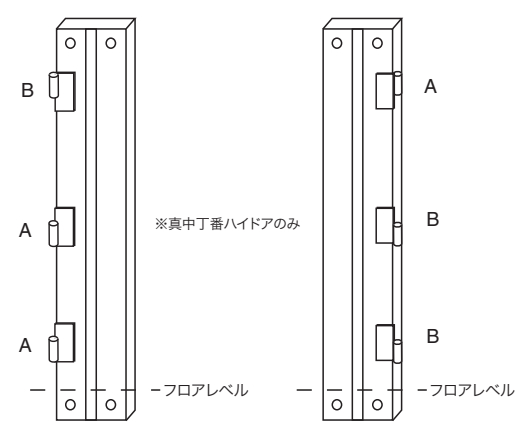


1. 枠の組立て・取付け

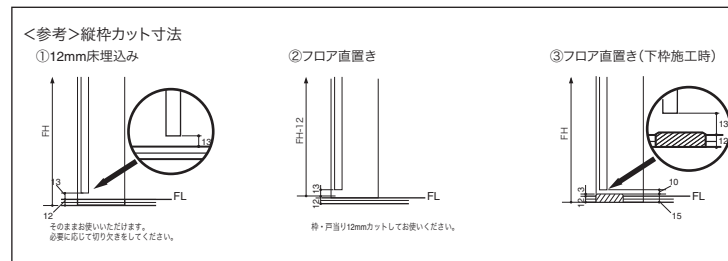
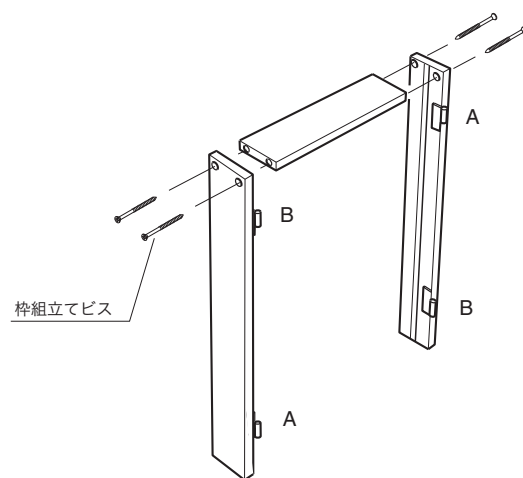
①ご希望の開き方を下の図を参考に選択して下さい。



②必要に応じて下端カットしてください。



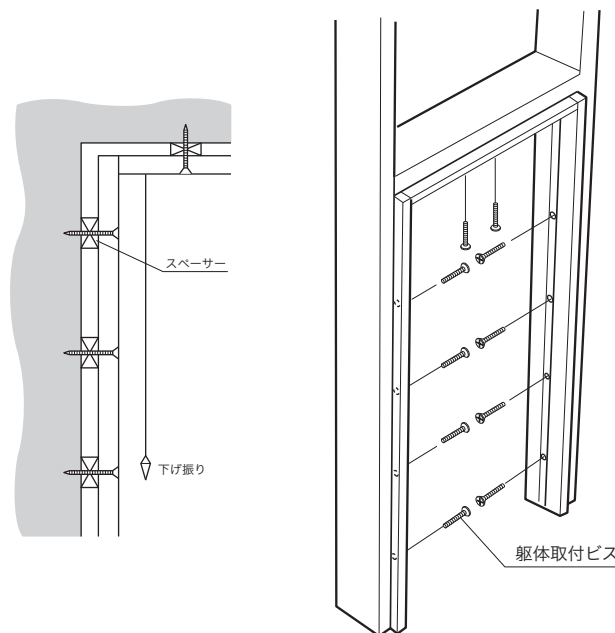
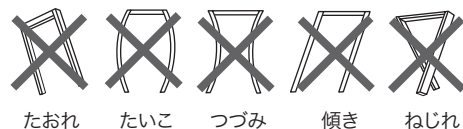
③同梱の組み立てビスで横枠と縦枠を固定して下さい。



2. 枠の取付け

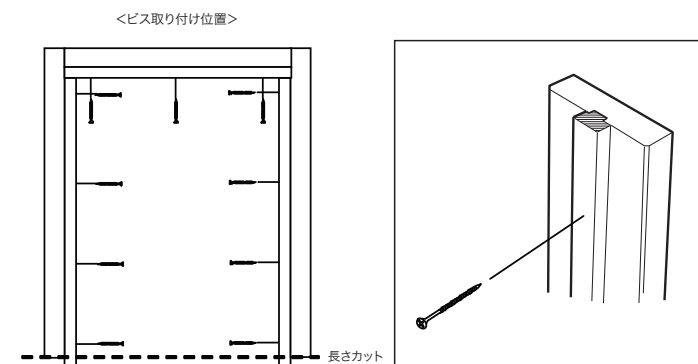
- ①開口部の水平・垂直を確認してください。
- ②躯体取付けビスを使って、枠を取付けてください。
- ③フランス落としの下用受けつぼを、上枠の加工位置を確認しビスで固定してください。

※下げ振りなどで建付けを確認しながら取付けてください。
※施工後の枠が下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。



3. 戸当りの取付け

- ①枠の溝に接着剤を入れ、戸当り用ビスで固定します。
- ②初めに、上戸当りを取付けてください。
- ③縦用の長さは、現場合せのうえカットしたのち、取付けてください。



5. 扉の吊込み

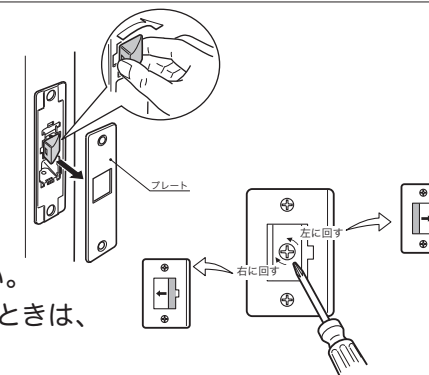
- 丁番とレバーハンドルの取付けは、レバーハンドルの部品箱の付属の説明書をご覧ください。
- 扉側丁番、丁番ケースカバー、丁番取付けビスは、レバーハンドルの部品箱に同梱してあります。

注意 ①一度扉を吊り込み、扉がスムーズに開閉できるかを確認してください。
②扉の保護のため、扉を一度取りはずし建築工事完了後に再度吊込むことをお勧めします。

6. 建付け調整

- ラッチの向き 左吊の場合にはプレートをはずして、ラッチの向きを反対にしてください。
(標準は右吊用になっています。)

- 丁番 レバーハンドルの箱に同梱してある丁番の説明書をご覧ください。
- ストライク ラッチがストライクの中でガタついたり、ストライクにかからないときは、ストライクの調整を行ってください。±2.5mmの調整が可能です。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
 - ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
 - ◆ネジの緩みや枠のガタツキがないか確認してください。
 - ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。
- ※枠・扉各々の取付けが完了しましたら、当て傷・擦り傷等がつかないようにお手持ちの養生材等で枠・扉の養生を完全に行ってください。
養生の際には、比較的粘着力の弱い紙製のマスキングテープ等で止めてください。

△ ご注意 △ ポリエチレン繊維等の養生テープは、粘着力が強いため使用しないでください。

※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引取っていただくようお願いいたします。
※縦枠上部の小口に無塗装部分が見える場合は、補修セットでタッチアップして処理してください。

<お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナー等の溶剤や強い洗剤を使用しないでください。使用しますと変色・変質しますので絶対に使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテ等が付着した場合は、速やかに拭取ってください。